

第 22 回東教区宣教フォーラム・第 2 回準備委員会議事録



日 時 : 2015 年 2 月 21 日 14 : 00 ~ 16 : 30

場 所 : 市ヶ谷センター、2F 会議室

出席者 : 10 名(敬称略、順不動)

高橋 進(田園調布)、津川栄一(市ヶ谷)、根本恭子(日吉)、長谷川晃司(東京)

松浦 稔(大岡山)、浅野牧師(東教区長)、森川正明(記録 - 池袋)

八木久美(武蔵野)、江口再起(小岩、アドバイザー)、木村 猛(保谷)

開会の祈り・司会: 木村 猛

議 題

1 第 1 回議事録の承認

2 開催場所: 東京教会(開催場所)と折衝中

3 教区からの要請(浅野教区長)

2017 年の「宗教改革 500 年」事業の一環として、新礼拝式文が作成途上にある。広く認識してもらう為、各教区で説明会を開催するよう本教会から依頼があった。東教区では多勢の信徒が集まる宣教フォーラムがふさわしいと考え、企画に加えるようお願いしたい。その講師として式文委員の松本義宣牧師(神戸・神戸東教会)の派遣を推薦できる。

意見・質問・協議

- ・なぜ改訂が必要か、説得力が薄いのでは。
- ・現青式文の成立経緯をふりかえり、大よそ 30 年周期で新式文が作られている。同様に聖書も改訂版が発行されている。その間の神学の深化が反映されると理解できる。
- ・新しい式文が加わる。使う、使わないは強制しないのが日本福音ルーテル教会のやりかた。各教会にふさわしい礼拝が許容されている。
- ・選択肢を増やしていくには良いこと。
- ・今回の新式文が次世代に繋がるものであれば歓迎できる。
- ・改革している教会なので 500 年を機に新式文ができることは歓迎すべき。
- ・東教区では、一日神学校・宗教改革記念礼拝・教区総会で既に試行されており、違和感は少ないのでは。
- ・宣教フォーラムは「信徒による信徒のための運動」であるので行政の下請け仕事にはしたくない。テーマに則って、その中に組み込む形を取りたい。

結論

今回の宣教フォーラムは「宗教改革で変わった信仰生活(礼拝)」に焦点を当てる企画であるので組み込むことは可能である。知恵を絞りたい。

浅野先生に式文委員会に申し入れ、松本先生の派遣を取り次いでくれるようお願いする。

併せ、松本先生との事前懇談を 5 月頃予定する(日程は後日決定、式文委員会の後あたりに)

4 準備委員会の組織・役割分担

下記の人選で組織することを決定した。

委員長 木村 猛(保谷)

副委員長 長谷川晃司(東京) 折衝中

書記 松浦 稔(大岡山)、森川正明(池袋)

* 会計・庶務に関しては検討中

5 第22回の構想「宗教改革を語れる信徒になろう！」

- ・宣教フォーラム4年間(2014～2017年)の働きの中での2015年の集い。
- ・宗教改革でどう礼拝が変わって現在につながって新式文にいたるかを、ルターの讃美歌を皆で歌い、礼拝の改革を学び、新式文の構成を学ぶ。
- ・この延長として、第3回は「ルターの聖書への取り組み」に焦点をあててゆく方向とする。
- ・ワールドカフェを「今、経験している礼拝の恵み、望みたい礼拝」に集中しては、
- ・サブタイトルで「誰にでも開かれた讃美と聖書の恵み」の提案があった。
- ・サブタイトルは次回決定、その後チラシ作成。
- ・当日の進め方を次回協議するので各自のアイデアを持ち寄る。

6 今後の日程(逐次決定します。赤字は確定)

- 3月14日(土) 第3回 市ヶ谷にて。役割の確認・テーマ、サブタイトル、
- 4月18日(土) 第4回 市ヶ谷にて。ポスター、予算、当日のプログラム、
- 5月16or23日 講師との懇談、プログラム、当日の作業分担、参加申し込み
- 6月13日(土) プログラム確定、作業分担の確認、
- 6月27日(土) 予備日
- 7月2日(木) 市ヶ谷にてプログラム印刷
- 7月3日(金) 東京教会にて、当日の準備
- 7月4日(土) 当日
- 7月25日(土) 反省会、報告書作成日程

以上